



NTT 労働組合退職者の会 高知県支部協議会

通信

2008年10月15日 第37号

NTT労働組合退職者の会 高知県支部協議会
会長 今井 智〒780-0841 高知市帯屋町2-5-11
TEL 088-821-3800 FAX 088-873-3313
URL http://www3.ocn.ne.jp/~ob-3800/
E-mail taisyoku-kochi@air.ocn.ne.jp

皆さんとりっじょに活動を!!

NTT西日本労組高知分会 分会長 北村 彰 祥



らバトンタッチし、分会長に就任しました北村と申します。

昭和五十一年に電電公社土佐中村統制無線中継所に入社以来、四国を転々とし高知に落ち着いたのはこの十年くらいです

から、皆さんにはあまり顔馴染みではないかもしれませんが、さて、NTTを取り巻く環境は、固定電話の衰退による収入減、電力系事業者との熾烈な顧客獲得競争等、大変厳しいものが

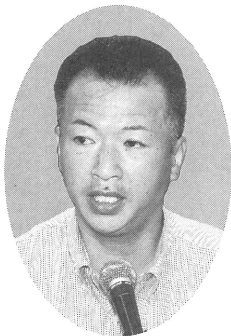
退職者の会の皆さん、はじめまして。

八月の四国総支部大会で総支部副委員長に、そして九月の分会総会において田岡前分会長か

お世話になりました

四国の立場で頑張ります

NTT西日本労組 四国総支部 執行委員長 田岡 章



組合員はさまざまな取り組みに懸命に努力しています。

一方、原油高に起因する各種商品の値上げや、四月にスタートした高齢者医療制度により、先輩の皆さんの生活も圧迫されています。

八月の四国総支部大会で、総支部委員長に就任し、九月三日の高知分会総会で分会長を退任した田岡です。

高知県で勤務した二年間、あらゆる面で退職者の会の諸先輩方には大変お世話になりました。

今、NTTを取り巻く環境は厳しさを増しており、雇用を守るためには会社経営基盤の確立が必要不可欠との立場で、現役

あります。また、電話接続形態も『交換機』による接続から『IP接続』に大きく変遷しようとしています。

福田総理の無責任な辞任総裁選挙、その後行われる第四十五回衆議院選挙となりますが、この選挙を勝利即ち政権交代を実現し、皆さんの暮らしを良くしなければなりません。もう我慢は限界です。皆さんのご協力を

お願いし、就任の挨拶とします。

第十回全国総会が開かれる

メモリアル事業や十周年事業を準備

二〇〇八年九月二十五日横浜に於いて第十回NTT労組退職者の会全国総会が開かれ、高知からは支部協会長の今井とNTT労組高知グループ連絡協議会の山下忠篤さんが参加した。

今年にはNTT労組中央本部から加藤友康新委員長をはじめ春木企画組織部長・山本情宣担当の三名と各県のグループ連絡協議会事務局長がそろって参加し、例年との意気込みの違いが感じられ好感であった。

また、内藤参議院議員と吉川参議院議員も忙しい中をお祝いに駆けつけてくれ、それぞれ挨拶と共闘を誓ってくれた。

会でははじめに、内堀中央協会長より先に行った「社会保障

第七回NTT労組四国総支部 定期大会開かる

NTT労組四国総支部の第七

回定期大会が八月一日から二日にかけて徳島市で開かれ、当支部協から今井会長と曾我幹事が特別代議員として参加した。

今年は、全電通労組がNTT労組に生まれ変わって十年目の節目を迎えた年であること、二〇一〇年のNTT経営形態見直し論議をひかえた大事な年であることから、会場の雰囲気も例年になく盛り上がりつつあった。

このうえは中央本部大会で議決されたように、退職者の会へのグループ連絡協議会事務局長の

者会議に提案する等中央協提案を全会一致で承認し散会した。詳細については、NTT労組新聞第三七〇号(二〇〇八年十月十一日)を参照願います。



の参加はもとより、地域の社会貢献活動や災害時における対応活動などを実行に移して頂き、それらを通じて新執行部が退職者の会活動を再認識し、現退一致での取り組みが強化されることを強く感じた大会参加であった。

第20回

どうナツチュウが?



このところ不思議でならないのが、ガソリンの値段。

原油が一四七ドルもしていた頃は、「まあしょうがないか」と半ば諦めていたものだが。

それが、このところ一一一ドルから一一五ドルくらいまで値下がりしてきた。その差、なんと三十有余円。

それなのに、下がったのはたったの十円だけ。いつかの頃の百円にまでは言わないが、もう少し下げてもよさそうなものではないか。

と思っていいたら、これからは元卸価格の公表もやめるといふ会社まで出る始末。

何おか言わんやである。

平和の願い、力強さに感動

第十九回長崎平和フォーラムに参加して

連合・原水禁・核禁会議主催の「核兵器廃絶二〇〇八平和ナガサキ大会」は、八月七日長崎県立体育館に全国から四二〇〇名が集結、大きく響くアンゼラスの鐘の音で開会。高木連合会長のあいさつに続き、金子長崎県知事、田上長崎市長、海外来賓代表あいさつの後、被爆者の訴えが、築城昭平さんからあったが、被爆六十三年を経た今も苦しみ耐え抜いている切々たる言葉が胸に焼きつく。

昨年の高校生平和大使、本年度同大使各六名を代表して結果報告と本年度計画を力強く発表の後、構成詩「親子で綴る平和の願い」が広い舞台いっぱいに演じられ、平和の大切さをアピール。参加者から盛大な拍手を受けた。

八月六日は、情報労連主催の「第十九回長崎平和フォーラム」がホテル・ニュー長崎で行われたが、全国から集まった現職・退職者の会四〇〇名により厳粛に行われた。はじめに加藤情報労連委員長が「原爆投下から六十二年、今なお被爆者のその家族の皆さんに重大な苦しみを与え続けている。労働者の役割として核廃絶を強く訴え続け、次代のためにも平和を創り、育てて行く運動を続けて行く」と決意表明。続いて長崎平和推進協会継承部会・安井幸子さんが「がれきの下から助けられたが、家族は原爆後遺症で火傷と放射線による嘔吐や発熱、皮下出血で苦しみながら他界し、自分ひとりとなつた今でも平和の語りべとなつて頑張っている」との言葉に深い感動を覚えた。

その後、参加者全員で流し灯籠にメッセージを書き入れた後、企業本部の支援スタッフと組合員、家族による構成詩「風化に抗して18」が演じられ被爆の実相に迫った。フォーラム終了後は原爆遺構巡りに参加、戦禍に遭い沈没した三隻の海底線敷設船と犠牲者を追悼し建立された不戦の誓いの「海魂の碑」に献花後、原爆被爆者の救護所として治療に当たった「新興善小学校」の一部が当時のまま建築保存されている長崎市役所、長崎県の知事室や通信室等があつた防空本部壕などを見学、改めて戦争の悲惨さ、恐ろしさ、愚かさを感じた。

八月九日は原爆資料館を見学、親子連れや外国の人たちの姿も多く見られ、平和への関心の強さを感じる。最後に電気通信労働者原爆被爆死没者慰霊式に参列。慰霊塔近くの長い石段を情報労連参加者が埋め尽くす中、原爆が投下された十一時二分サイレンを合図に黙持を捧げ、全員が参拝して犠牲者の冥福を祈った。



中に被爆した川嶋美志女さんが詠んだ詩の一節が刻まれている。「いのちのかぎり 消えぬ被爆の憎しみを いかにつたえむ」 澄みしこの瞳に」 この長崎平和フォーラムに全国の退職者の会の代表として、高知県支部協会の速渡副会長が参加し、平和の尊さを再確認した。

各地でOBの元気な姿



土佐・春野 25名が集う盛況 会員増加に努めることも確認



土佐、春野地区居住者会議は、梅雨の合間の六月二十六日（木）高知市春野町SP haru noに二十五名が参加して開かれた。

本年度当番の春野地区世話人の上田章夫さんから会計報告を行った後、退職者の会から参加した速渡副会長から当面の懸案事項、特に「電通共済生協」の変更箇所についての注意事項に耳を傾けた後、会として今後の取り組みの話し合いでは①会員の増加に努める。②来年の地域会は土佐市の「国民宿舎土佐」で実施する等の提案があり満場一致で承認された。

続いて懇親会に移り、会員同志の昔話を花を咲かせる等、和気あいあいの雰囲気の中で来年の再会を誓い合った。

窪川こじやんと 窪集まった百余名

六月十四日（土）に窪川地区（四万十町）在住者のもとより、かつて窪川電報電話局NTT窪川営業所に勤務した仲間（OB、現役）一〇二名がJA四万十会館に集まりました。

他の地区のように会長や会則があるのではなく、久しぶりに集まって「懐かしい顔を見て、元気な声を聞く」もので、窪川会の会員でもある今井退職者の会会長を来賓として招き、盛大に食べて飲んで三時間余り語り合いました。年齢はとも、気持ちの若いOBの面々が語る内容は、今、世間で話題の「後期高齢者医療」ではなく在職時の思い出や現役へのハッパ等、元気な話題が多かったようだが一〇二名もの大人数ですので「話す時間が足らなかつた」と残念がる声が多数ありました。

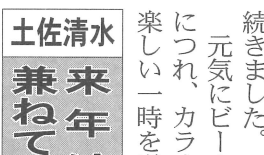


汽車利用の参加者が多くいたため、帰りの車中はかなり賑やかな二次会場になったようです。今井会長の挨拶でも呼びかけた他の地域の集まりのように窪川地区在住者を中心にした集いを来年も開き、今回の

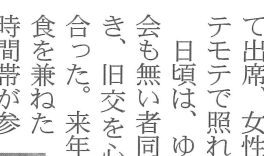
現職も交え 須久しぶりの交歓



NTT須崎OB会では、NTT労組と退職者の会と一緒に「旧須崎局管内現役とOBの集い」が、八月二十三日（土）二十六名の参加で開かれた。市川幹事の司会で始まり、退職者の会速渡副会長はじめ、各代表から現状報告も兼ねてあいさつがあり、全員で認識を深めました。その後、



土佐清水地域の集いが九月二十六日土佐清水市の足摺食堂で開かれた。小川幹事の司会で開会。平林世話人のあいさつに続いて速渡副会長から電通共済申込みの謝礼、当面する諸問題等



NTT労組退職者の会 高知電友会 共催

退職者文化講演会のご案内

- 日時 12月10日（水）午後3時～
- 場所 高知商工会館 3階
（高知市本町1-6-24）
- 演題 「老いの品格を考える」
- 講師 四国総合教育研究所
所長 横川 遊亀寿氏

生きて生かされて・有り難うとごめんなさい。
横川先生のお話を聞けば、命の重さを実感として理解でき、生きる勇気が湧いてきます。乞う、ご期待！

皆さんのご参加をお待ちしております！

忘年会にも
参加しませんか！！

NTT-OB・OGならどなたでも参加できます
●会費 5,000円（当日お支払い下さい）
●申し込み 電友会（☎088-871-1246）